

活動報告書

番号

19

【団体の概要】

事業名：日ノ御子アウトドアフェス2022

団体名：株式会社ラフディップ

【活動の概要】

目的：日ノ御子河川公園キャンプ場は香美市の美しい自然を体験できる場として、年間を通して多くの人が訪れます。上流部は県内外からクライマーが訪れるボルダリングスポット。また物部川付近ではダム湖を利用してSUP体験なども行われており、夏場は川遊びの家族連れや若者で賑わいます。また日ノ御子川は香北町の水源として、その森の恵みを受けている清流です。

しかし、現状ではこのように利用する人と地域住民の間で交流はなく、顔もわからない、何をしているかもわからないような状況です。このイベントを通して香美市の森が育む、日ノ御子の魅力を地域住民が再認識するとともに、地域と利用者の交流の機会とし、体験型の観光や教育、地域振興など、これから森林サービスとしての可能性を引き出す第一歩としたいと考えています。

イベント開催前には地域住民、クライマー、SUP、地元の小中学生、行政が一緒に、日ノ御子川河口付近から上流部まで一斉清掃を行いました。綺麗になった日ノ御子に県内から沢山の方にイベントに来てもらい、香美市の森の恵みや自然で遊ぶ楽しさを体験してもらい、高知の自然の素晴らしさを実感し、郷土と自然を愛する心を育んでほしいという願いで行います。

内容：

当日は暑いくらいの晴天に恵まれ、森や川で過ごすにはぴったりの陽気となりました。

スタート10時から沢山の家族連れやカップル、若者たちが訪れ、マルシェやアクティビティを日ノ御子の自然の中で楽しんで行ってくれました。参加者の方から「わくわくに満ち溢れた世界だった！」と言う言葉をかけていただき、正に思い描いていたアウトドアフェスのイメージに近づけられたのではないかと思っています。

■五つの体験ブース

- ・特設クライミングウォール
- ・物部川でSUP体験
- ・パックラフト（ゴムでできた軽量のカヌーのようなもの）体験
- ・ブッシュクラフト体験（インスタフォロワー14万人のブッシュクラフトの達人が、森で役立つロープワーク、ナイフワーク、火おこしのワークショップを実施）
- ・スラックライン（木と木の間にロープを張りバランスを取ったり、パフォーマンスをするスポーツ）

■マルシェ

- ・飲食ブース17店舗、リラクゼーションやクラフト系ブース6ブース

県産材を使った木工クラフト作家のブースや環境に配慮した素材を使った洋服や雑貨の作家ブース、オーガニックな素材で作ったスイーツなどに、関心のある人たちがたくさん訪れていました。

成果：

まず、イベントの実施にむけ、10/2(日)には約100人のボランティアが集まり、日ノ御子川、物部川の清掃活動を行いました。

クライマー、sup、地域の方々、小学生から高校生のボランティア、行政の方々などが集まり、日ノ御子に感謝の気持ちを込めて、きれいになった日ノ御子にたくさんの方に来ていただくため実施をしました。上流では予想をはるかに超える不法投棄の量に愕然とするも、みんなで力を合わせて、土に埋もれた300個以上の一斗缶を掘り出し撤去するなどしました。また下流では物部川沿いの長年にわたって積み重なっているポイ捨てゴミを小学生の親子が中心となり、きれいにすることが出来ました。これらの活動を経て、日ノ御子アウトドアフェスを開催することができ、日ノ御子を利用する人、地域住民、小学生から高校生、地元有志のボランティア、行政がひとつになり、人的な交流が促進され、地域の連携が今まで以上に高まったと思います。

またイベントを通して、香美市香北町の森林や河川などの自然環境を活かした体験型観光や地域振興のひとつのモデルとなり、可能性を見出すことが出来たのではないかとも思っています。

今回のイベントを通じて、事業者間においても新しい出会いや信頼関係がより強固になるなど、今後の連携を確認しあう素晴らしい機会となりました。

【プログラム】

実施年月日： 令和4年10月23日(日)

場 所： 日ノ御子河川公園キャンプ場(香美市香北町西峯59)

日程:	時間	内容	詳細
	7:00	スタッフ集合	
	7:30	出店者搬入開始	
	8:00	駐車場誘導係打ち合わせ	
	9:00	スタッフ打合せ	
	10:00	開会、イベントスタート	・総合案内に救護班を設置 ・安全管理と清掃のため施設内巡回 ・アンケート回収 ・アクティビティの受付補助
	15:00	閉会	
	15:30	出店者搬出開始	・看板、のぼりなどの撤去、片付け
	17:30	終了	

(備考)

参加人数： 大人 600名 ・ 子供(～17才) 700名 ／ 外部講師 7名 ・ スタッフ 15 名

募集地区： 県内全域 募集対象： 子どもから大人まで

募集方法： SNS、HP、チラシ配布、広報誌など 参加費等： 入場無料(体験により有料のものあり)

マスコミ等での紹介例(あれば)

:高知アイ+スーパー、高知新聞(10/28)

感想：

<参加者>アンケートから抜粋

キャンプ場を活用したよいイベントでした。ぜひ継続してください。

ゴミ箱、座る場所も多くて良い！気持ち良し！また続けてください。来ます。

自然が豊かでとてもよかったです。

とても楽しいイベントで、コロナもあり、久々に子供をつれてみてまわってよかったです。

<出展者>アンケートから抜粋

自然環境が豊かなので、県内在住者や県外の方にも知って頂けるようなヒノミコアウトドアフェスに成長していくように感じました。

定期開催してほしい。冬も冬で何か香美市の魅力を掘り起こすものにして欲しい。

このフェスは、者と物、物と人、物と物を繋げただけではなくて、人と人をがっちり繋げてくれた最高のイベントでした。地域の方々、中学生のみなさま、出店者の方々、スタッフのみなさま全てをひとつのワールドとしてくれた空間でした。

<スタッフ>

・1,300人を超える集客があり、事故や怪我もなく無事終えることができたので良かった。

・さまざまな課題があったが、実施までにスタッフ間、出店者間で協力体制がとれ、今できる最善の形でイベントを実施することができた。

・地域の魅力を多くの人に知っていただく機会になった。

課題

・補助金申請が遅くなってしまい、準備が後手後手になってしまった。

・準備段階でマルシェ出店者の募集、選定に苦労したため、イベント全体のスケジュールがタイトになってしまった。

・飲食の出品内容に偏りがでてしまった。

・様々な事情で実施工業エリアを2エリア設定したが、賛否両論あった。

・ブレーカーが何度も落ちてしまうトラブルがあり、電源ごとの許容量と使用電力を正確に把握しておく必要があった。

・テントや机などの貸し出し物品に関して、出店者と意思疎通がうまくできていないところがあり、当日準備にバタバタした。

・アクティビティエリアには電源がもともとなく、大容量ポータブル電源で対応していたが、途中で電源が落ちてしまった。